

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

福井県

学校名

勝山市村岡小学校

人権課題

子ども（いじめ）

対象学年・  
取り扱った教科等

5・6年 道徳

目標・人権  
教育のねらい

- ・何がいじめなのかを正しく知ることにより、いじめに気付くことができるようにする。
- ・いじめの構造を学び、いじめを防ぐためには、誰に何ができるかを考えることができるようにする。

実施した内容

- ・いくつかの事例を紹介し、これらの事例がいじめなのかを話し合う。
- ・どうしていじめがいけないことなのか、そもそも「人権」とは、何かについて話し合う。
- ・どうしたらいじめをなくすことができるか、グループで討論する。
- ・いじめられている子の心について話を聞き、考える。

工夫した点

- ・児童のいじめに対する認識を確認し直すために、弁護士から話を聞き、法律にもとづいていじめや人権について考えた。

他教科との  
関連

学級活動で、友だちのよいところ探しをした。



# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

福井県

学校名

勝山市立村岡小学校

人権課題

高齢者

対象学年・  
取り扱った教科等

4 学年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・立場の違う人に対する偏見や思い込みを取り除き、それぞれの人権を尊重し、共に生きていく意識を育てる。
- ・高齢者が生活の中でどんなことに苦労しているか考え、体験を通して高齢者についての意識を高める。

実施した内容

- ・家族のお年寄りにインタビューをしたり、地域のお年寄りをゲストティーチャーに招いたりして、話を聞く。
- ・お年寄りの生活について考える。
- ・シニア体験をする。

工夫した点

- ・社会福祉協議会と連携して、シニア体験を実施した。
- ・自分たちの命はいつもたくさんの人に支えられ、つながっていることをより実感できるように、様々な立場を点で体験するのではなく、児童の思いや感想をつなげながら体験を重ねた。



他教科との  
関連

道徳「つながってる！」で、命のつながりについて学習した。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

福井県

学校名

勝山市立村岡小学校

人権課題

障がい者

対象学年・  
取り扱った教科等

全校・道徳

目標・人権  
教育のねらい

- ・障がい者に対する偏見や思い込みを取り除く。
- ・障がい者の人権を尊重し、共に生きていく意識を育てる。
- ・障がい者に対して、思いやりの心を持ち、親切に対する意欲・態度を養う。

実施した内容

- ・車椅子アスリートの方を招き、車椅子での生活について話を聞く。
- ・身近な所にある様々な障がい者マークについて知る。
- ・車椅子での生活になっても、自分の夢に向かって努力することの大切さについて話を聞き、ふり返りをする。

工夫した点

- ・障がい者に対する関心を高め、相手の立場に立って考えることができるようにするため、現役の車椅子アスリートから直接話を聞く。
- ・児童のもつ障がい者への偏見や思い込みを取り除くために、競技の様子や競技用車椅子、金メダル等に触れる。

他教科との  
関連

総合的な学習の時間に、車椅子体験をした。



## 令和3年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

都道府県・  
指定都市名

福井県

学校名

勝山市立村岡小学校

人権課題

同和問題

対象学年・  
取り扱った教科等

6学年・社会科

目標・人権  
教育のねらい

- ・憲法で保障されている基本的人権の尊重について、正しく理解する。
- ・日本の歴史の中で、行われてきた身分制度について理解を深め、偏見や差別が今も様々な形で残っていることを知り、これからの自分たちの在り方について考える。

実施した内容

- ・社会科の歴史の学習を通して、部落差別の発生と実態について知り、話し合う。
- ・社会科の公民の学習を通して、基本的人権の尊重について知り、話し合う。

工夫した点

- ・同和問題の流れを正しく理解し、より考えを深めるため、社会の学習で取り上げられている同和問題に関わる内容を全て学習したのち、流れをまとめ、自分の在り方を考える時間を設定する。

他教科との  
関連

道徳で、「差別がどうしてダメなのか」について話し合いをした。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

福井県

学校名

勝山市立村岡小学校

人権課題

外国人

対象学年・  
取り扱った教科等

3学年・外国語活動

目標・人権  
教育のねらい

- ・世界の文化と日本の文化を比較することで、それぞれのよさを見つけ、偏見や思い込みを取り除き、共に生きていく意識を育てる。

実施した内容

- ・外国語活動の学習を通して、ALTから様々な国の様子について話を聞く。
- ・言葉、遊び、スポーツ、暮らしなどについて調べ、外国の文化について知る。
- ・日本の文化と比較し、日本と外国それぞれのよさを見つけ、互いのよさを認め合う。

工夫した点

- ・外国の文化により親しみを持つために、ALTとのやりとりを通して、楽しく学習する。
- ・児童がより関心をもって取り組むことができるように、一人一人が知りたいと思うテーマを設定した。

他教科との  
関連

総合的な学習の時間に、世界の国について学習した。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

福井県

学校名

勝山市村岡小学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・  
取り扱った教科等

5・6年 学級活動

目標・人権  
教育のねらい

- ・インターネットによる人権侵害について正しい知識を育てる。
- ・メディアとどのようにしてつきあっていくべきか、自分の考えをもち、意思決定できる児童を育てる。

実施した内容

- ・児童のインターネットの使用時間のデーターをもとに、現状について話し合う。
- ・どのような問題が起こっているのか知り、それらの問題のどこがいけないのか話し合う。
- ・今後、自分だったらどうするのか考え、意見を交流する。

工夫した点

- ・インターネットの利用には、家庭の協力が必要であるため、児童とともに保護者の問題意識を高めることができるように、保護者会で授業公開をした。
- ・児童の関心を高めるために、新聞記事を用いて、実際にあった事例を紹介した。

他教科との  
関連

道徳「カスミの携帯電話」で情報モラルについて考え、規範意識を高めた。